



東京電機大学理工学部

知能機械工学科
創造工学系

Formula SAE Project

第5回 全日本学生フォーミュラ大会 結果報告



グッドフレームデザイン賞1位 設計審査3位 静的優秀賞5位獲得!!

綜合成績 10位

(エントリー61チーム中)

設計審査 3位

プレゼンテーション 9位

コストイベント 10位

エンデュランス 14位
(耐久性能)

オートクロス 15位
(総合運動性能)

アクセラレーション 21位
(加速性能)

スキッドパッド 27位(未出走)
(旋回性能)

当プロジェクトチームは9月12日から15日にかけて静岡県袋井市 小笠山総合運動公園(愛称:エコパ)で行われた第5回全日本学生フォーミュラ大会(Formula SAE 日本大会)に参戦しました。日本中から58チーム、海外から3チーム、合計61チームの大学がエントリーする中、当プロジェクトは総合10位を獲得しました。

今大会に向けて新しく設計、製作した新車両 RF05が完成を迎えたのは、大会前日。6月のアメリカ西海岸大会を終えた後に本格的な作業が始め、約2ヶ月で1000点以上の部品を有する車両の設計、製作を終わらせました。ギリギリの日程の中、時間を最大限使うため毎日ほぼ24時間営業状態で活動してまいりました。

その状況の中、大会では、設計審査3位、グッドフレームデザイン賞1位を獲得。当チームの高い設計技術が評価されました。完成状態での車両のセッティングを一切行わずに挑まざるを得なかったエンデュランスでは、4年石山が怒涛の走りを見せ、トップに並ぶ55秒台でラップを刻み、新車両の高い運動性能を確信しました。ところが、エンデュランス競技中パイロンに接触しタイムロス。結果14位に。ドライバーが大会会場で初めて車両に乗った中ではベストを尽くしました。

当チームは12月のオーストラリア大会に参戦します。オーストラリア大会では、高い運動性能を誇る新車両に更に改良を加え、テスト走行を積むことで、ドライバーのスキルを向上させ、車両セッティングを入念に行い最高の性能を引き出します。メンバー一同、オーストラリアの青空の下で優勝を獲得できるよう全力を尽くす所存です。

このたび、大会に参戦できる運びとなったのは、皆様のご支援、ご声援があったからに他なりません。これからも、引き続きよろしくお願ひ致します。

エンデュランスではトップに並ぶ55秒台でラップを刻み好調な走りを見せるが、コース上のパイロンに接触しコースマーカーから停止を命じられる。結果14位に。



設計審査(デザインイベント)では1次審査で上位5チームに入り、ファイナル出場。ファイナルでは、当チームの車両を大いにアピール。結果3位に輝く。